

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第48回 ビジネス文書実務検定試験 (25. 6. 30)

第3級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第48回 ビジネス文書実務検定試験 (25. 6. 30)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

昨年、わが国にも環境税が導入された。これは、石油や石炭など	30
の消費量によって課税される。税の目的は、二酸化炭素の発生を抑	60
えることである。この対策に積極的なヨーロッパでは、20年ほど	90
前から取り入れられている。	104
私たちの生活には、自動車やエアコンなどの利用が欠かせない。	134
だが、快適な暮らしのためには、多くの燃料を消費することが必要	164
になる。その結果、生活が便利になればなるほど、二酸化炭素が増	194
えてしまうという問題が生じる。	210
この税金は、省エネ対策や再生可能なエネルギーの普及などに、	240
活用される予定である。これをきっかけに、私たちも地球を守ると	270
いう意識をもつことが大切だ。今後も、環境に優しい取り組みが進	300
むことを期待したい。	310